

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：家計調査(2015年3月)

発表日：2015年5月1日(金)

～1-3月期の除く住居等は前期比0.0%と低調な結果に～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 副主任エコノミスト 高橋 大輝
TEL：03-5221-4524

(単位：%)

		実質消費支出 (二人以上世帯)				実質可処分所得 (勤労者世帯)		消費性向 (勤労者世帯)
		合計		除く住居等(※)		前年比	前月比	季調値
		前年比	前月比	前年比	前月比			
2014	1月	1.1	1.0	1.1	2.1	▲0.5	1.4	75.3
	2月	▲2.5	▲0.7	▲2.2	▲2.3	▲1.3	▲1.3	75.3
	3月	7.2	10.9	8.6	9.8	▲3.2	▲0.3	84.4
	4月	▲4.6	▲13.8	▲6.7	▲13.6	▲7.0	▲3.3	74.6
	5月	▲8.0	▲2.9	▲6.5	0.5	▲3.4	3.0	71.3
	6月	▲3.0	1.8	▲3.7	0.6	▲8.0	▲3.2	74.8
	7月	▲5.9	▲0.1	▲6.3	▲0.3	▲5.2	1.0	75.0
	8月	▲4.7	▲0.1	▲3.4	1.2	▲5.2	▲0.5	73.6
	9月	▲5.6	1.1	▲5.7	▲0.2	▲5.9	▲0.4	75.1
	10月	▲4.0	0.7	▲2.0	0.9	▲2.4	2.0	74.2
	11月	▲2.5	0.4	▲1.0	0.6	▲3.9	▲0.9	75.5
	12月	▲3.4	0.2	▲2.2	0.2	▲0.3	2.3	73.8
2015	1月	▲5.1	▲0.3	▲4.8	▲0.3	▲2.5	▲0.6	74.6
	2月	▲2.9	0.8	▲3.3	▲1.4	▲0.5	0.7	72.9
	3月	▲10.6	2.4	▲9.6	2.8	▲1.1	▲0.9	76.5

(出所) 総務省「家計調査」※「住居」、「自動車購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている

○3月は増加も1-3月期の消費は低調

総務省から発表された3月の家計調査によれば、実質消費支出は前年比▲10.6%（コンセンサス：同▲12.0%、レンジ：同▲13.0%～▲7.5%）とコンセンサスを上回る結果となった。前年比で大幅マイナスとなったのは、2014年3月に消費税率引き上げ前の駆け込み需要を背景に大幅増加となった裏が出たためだ。季節調整値でみると、前月比+2.4%と大幅増加となった。振れの出やすい項目を除いた「除く住居等」でも、前月比+2.8%と高い伸びだ。2月は同▲1.4%と弱い結果だったことから、個人消費の改善自体が途切れた可能性も考えられたが、3月はしっかりと反発したことで一先ず安心だ。

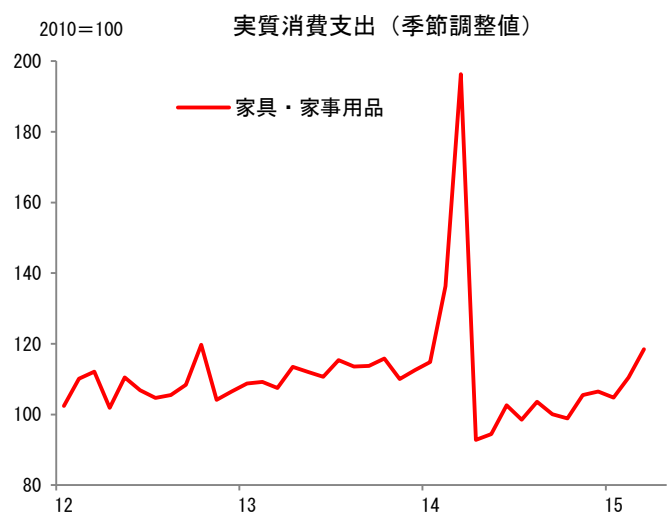
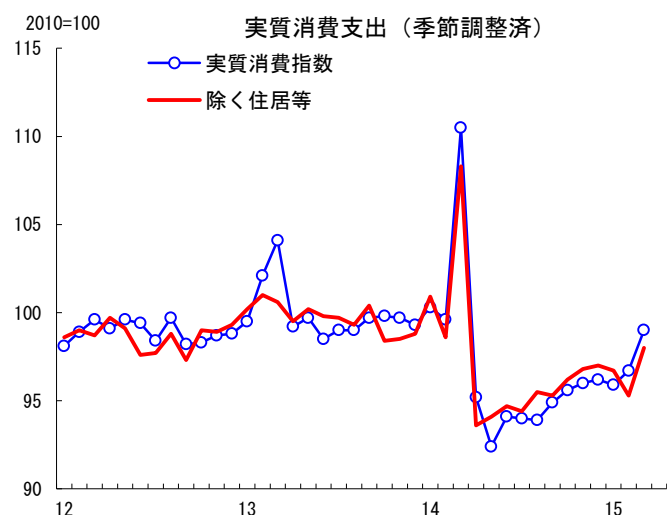
ただ、3月の結果は強いものだったが、均してみれば個人消費の足取りの鈍さは拭えない。1-3月期の実質消費支出は前期比+1.3%と増加したが、伸び率は前期から鈍化している上、消費の基調をみる上でより重要な「除く住居等」は同0.0%と横ばいに留まった。先んじて公表された商業動態統計も弱い結果であり、1-3月期の個人消費は停滞感を払拭するには至らなかったとみられる。

項目別に1-3月期の実質消費指数（季節調整値）をみると、「住居」（前期比+6.8%）が2四半期連続で高い伸びとなったほか、「家具・家事用品」（同+7.4%）は3四半期連続の増加と駆け込み需要の反動減から順調に持ち直している。一方で、減少となったのは「保健医療」（同▲4.0%）、「教育」（同▲6.9%）、「教養娯楽」（同▲1.5%）などだ。特に「教養娯楽」は4四半期連続の前期比マイナスと、消費税率引き上げ以降減少傾向に歯止めがかかっておらず、家計が依然として引き締め姿勢を緩めていないことが窺える。

○先行きは徐々に明るさが増してくる見込み

先行きの個人消費は徐々に持ち直していく可能性が高いとみている。雇用や所得の増加が見込まれるほか、足元で消費者マインドが改善してきたためだ。

足元の雇用環境をみてみると、雇用者数は堅調な推移が続いている。雇用に先行する新規求人数の増加が一服している点は気がかりだが、企業の人手不足感は強いことを踏まえれば雇用の改善自体は続こう。賃金については、労働需給の逼迫や春闘の結果を受けた押し上げが期待できる。また、消費者物価も当面は抑制された動きになることが予想され、家計の負担減に繋がるだろう。こうした要因が追い風となることで、マインドの改善が続けば、これまで重石となってきた耐久財やサービスの持ち直しに繋がろう。今後、個人消費は徐々に明るさが増してくるものと予想している。



(出所) 総務省「家計調査」